人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2022

3 MAR

第738回
東京定期演奏会

サントリーホール
2022年3月4日(金)19:00
3月5日(土)14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

Mitsui Fudosan
三井不動産 Story
いい街には、物語がある。

江戸っ子がうらやましがる
日本橋にしよう。

都市に豊かさと潤いを
三井不動産グループ

CONTENTS
目 次

◆ プログラム 04
◆ 出演者プロフィール 06
◆ プログラム・ノート- 寺西 基之 - 07
◆ 写真プレイバック- 2022年1月 - 10
◆ Member's TVU CHANNEL 配信一覧 11
◆ 感動の共有　～ご支援のお願い～ 15
◆ 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 16
◆ パトロネージュご芳名 20
◆ 首席指揮者ピエタリ・インキネン インタビュー 22
◆ 次回東京定期演奏会指揮者インタビュー 24
◆ インフォメーション 26
◆ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 27

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 738th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第738回 東京定期演奏会

サントリーホール Suntory Hall

2022年3月4日(金)午後7時開演／5日(土)午後2時開演

7:00p.m. March 4th (Fri.) & 2:00p.m. 5th (Sat.), 2022

主　　催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

協　　賛／鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社

衣装提供／株式会社カインドウェア

表紙イラスト／小澤 一雄

助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク(不織布など効果の確かなもの)を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。(ホール内は飲食禁止です)
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。
- ● 新型コロナウイルス接触アプリ(COCOA)等通知アプリの利用をお勧めいたします。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ラヴェル：スペイン狂詩曲　約16分
Maurice RAVEL: Rapsodie Espagnole

ラヴェル：ラ・ヴァルス　約12分
Maurice RAVEL: La valse

休憩(15分) Intermission

ラフマニノフ：交響曲第3番 イ短調 op.44　約40分
Sergei RACHMANINOV: Symphony No.3 in a-minor, op.44

指揮：広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]
Conductor: HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

コンサートマスター：扇谷 泰朋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也[日本フィル・ソロ・チェロ]
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

■ 声と拍手にご注意を

■ 周囲にご配慮を

■ 音にご注意を

■ 撮影禁止

©Masaaki Tomitori

Conductor 指揮

広上 淳一
[フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）]

HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第１回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。

近年では、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。

2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問に就任。2020年4月より京都コンサートホール館長も務める。2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）に就任。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

プログラム・ノート 解説：寺西 基之

今回の定期演奏会は、もともとはフアンホ・メナの指揮によるスペイン特集が予定されていたが、入国制限のためにメナが来日できず、2021年9月にフレンド・オブ・JPO（芸術顧問）となった広上淳一の就任後初めての公演が図らずも実現することとなった。

広上と日本フィルとの結び付きは長くて深い。彼が初めて日本の楽団の定期演奏会を振ったのが1988年、その時のオケが日本フィルだった。曲はマーラーの交響曲第6番で、筆者はこれを生で聴いているが、定期初出演にこの大作を選んだ広上の意欲と、新進指揮者にこの難曲を任せた日本フィルの彼に対する大きな期待が相乗効果を生んだ気迫溢れる演奏に圧倒されたものだ。あれから24年、その間に広上が日本フィルを振った回数は夥しい数にのぼり、多くの名演を生んできた。彼が振る時の日本フィルの演奏からは、両者の揺るぎない信頼関係が伝わってくる。このたび新たにフレンド・オブ・JPO（芸術顧問）となった広上が、さらに日本フィルとの絆をいっそう強めていくことを期待したい。

■ ラヴェル：スペイン狂詩曲

鋭い音感覚と斬新な発想でフランス近代の音楽に革新をもたらしたモーリス・ラヴェル（1875－1937）だが、初期の作品で早くも彼のそうした尖鋭さが現れたものとして、1895年に書かれた2台ピアノのための『耳で聴く風景』がある。とりわけその第1曲「ハバネラ」には、彼自身のちに「自分の音楽の要素の萌芽を含む作品」と述べているように、彼の鋭敏かつデリケートな感性が発揮されている。そしてそれから12年後の1907年から翌年にかけて、彼はこの「ハバネラ」を流用し、さらに新たに書いた3曲を組み合わせて、管弦楽曲『スペイン狂詩曲』を作り上げた。初期の『シェエラザード』序曲を除けば、この『スペイン狂詩曲』はラヴェルにとって初の本格的な管弦楽曲だが、彼らしい豊かな色彩感とスペイン趣味に彩られた見事な書法によって、管弦楽の分野でのラヴェルの傑作に挙げられる。初演は1908年3月15日パリでエドゥアール・コロンヌ指揮コロンヌ管弦楽団によってなされた。

第1曲「夜への前奏曲」は4音の下行動機（第2、4曲でも回想される）の反復のうちに物憂い夜の気分が映し出される。**第2曲「マラゲーニャ」**はアンダルシア地方の舞曲マラゲーニャによる躍動的な曲で、途中にはコーラングレによる唄が挟まれる。**第3曲「ハバネラ」**は先述のように初期に書かれた2台のピアノのための作品を原曲とする曲で、デリケートな書法のうちにけだるい雰囲気が醸し出される。**第4曲「祭り」**は民俗的な主題をラヴェルらしい響きのうちに同化させつつ、民謡風の唄や夜の静寂の描写を挟みながら、祭りの賑わいと熱狂を描き出す。

楽器編成：ピッコロ2、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット3、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、タンブール・ドゥ・バスク、シロフォン、ハープ2、チェレスタ、弦楽5部。

■ ラヴェル：ラ・ヴァルス

新しい響きの世界を追求したラヴェルがウィンナ・ワルツを好んでいたというと、意外に思われるかもしれない。彼がすでに1906年にウィンナ・ワルツに関わる作品を構想していたことは、この年に書かれた手紙で「私が今考えているのは、ヨハン・シュトラウスに敬意を示す作品である。私はワルツのリズムをとても気に入っており……舞踏による生の喜びの表現を高く評価している」と記していることから窺い知れる。しかしその構想はすぐには実現せず、やっと1920年に管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」（当初の考えていた題は交響詩「ウィーン」）として結実することとなった。

ラヴェル自身この作品について、「ウィンナ・ワルツの楽章。渦巻く雲の切れ目からペアになってワルツを踊る人々が垣間見える。次第に雲が散っていき、回っている多くの人々でいっぱいの大広間が見えてくる。場は次第に明るくなる。フォルティッシモでシャンデリアが光り輝く。1855年頃の皇帝の宮廷」と説明しているが、まさにそのとおり曲は混沌とした響きの中からワルツが徐々に浮かび上がり、次第に発展して輝かしい頂点に至る。もっともこの作品は決してウィーン風ではない。ワルツの優雅さの中に漂う世紀末的な官能性や、どこかグロテスクな雰囲気など、第1次大戦を経験したばかりの不安な時代に生きるフランス人の目から見た19世紀のウィーンの幻想というべき作品である。初演は1920年12月12日パリでカミーユ・シュヴィヤール指揮ラムルー管弦楽団によって行われた。

楽器編成：フルート3（ピッコロ持替1）、オーボエ3（イングリッシュ・ホルン持替1）、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、銅鑼、シンバル、トライアングル、タンブリン、カスタネット、グロッケンシュピール、フィンガーシンバル、ハープ2、弦楽5部。

■ ラフマニノフ：交響曲第3番 イ短調 op.44

ロシアの作曲家・ピアニストのセルゲイ・ラフマニノフ（1873－1943）は1917年、ロシア革命による混乱を嫌って母国を去り、後半生はアメリカを本拠に、ヨーロッパと行き来しながら活動した。この後半生の彼は、生計のためにピアニストの活動が中心となったため、少数の作品しか残していない。そのひとつが1935年から36年にかけて書かれた交響曲第3番（1938年改訂）である。第2番が書かれたのは1907年だから、実に約30年ぶりの交響曲ということになる。

ラフマニノフは終生ロマン的なスタイルにこだわった作曲家で、この交響曲第3番にもそうした特質が示されている。しかし交響曲第2番などの以前の作品に比べると、様々な楽想や細かい動機やリズムを組み合わせたり、交錯させたりすることで、テクスチュアの多様な変化を作り出す書法が多用されるようになり、それがどこか錯綜とした独特の晦渋な響きを生み出している。3管編成の巧みな管弦楽法による音色の多様性や、全曲を通しての主題や動機の巧緻な関連性などには、交響曲作家としての彼の確かな手腕が示されている。初演は1936年11月6日フィラデルフィアにおいてレオポルト・ストコフスキー指揮のフィラデルフィア管弦楽団でなされている。

全体は3楽章構成で、スケルツォ楽章を欠く代わりに、緩徐楽章の第2楽章の途中にスケルツォ風の部分が挿入されている。

第1楽章（レント～アレグロ・モデラート）はまず冒頭でクラリネット、ホルン、チェロがユニゾンで揺れ動く寂しげな動機を示し、それに続けて突然爆発するように総奏が激しい動機を奏する。いずれも全曲通して重要な役割を果す楽想である。すぐ続いてオーボエとファゴットの哀愁に満ちた旋律に始まる第1主題が示される。第2主題はチェロが歌う甘美なもので、母国ロシアへの郷愁をそこに感じ取ることもできよう。様々な楽想が緊張に満ちた響きを織りなしていく展開部はやがて悲劇的な高まりを築き、それが陰鬱な気分のうちに収まったところで再現部となって2つの主題が濃やかな響きのうちに再現される。**第2楽章（アダージョ・マ・ノン・トロッポ）**はハープ伴奏でホルンが歌う冒頭に続いて、ヴァイオリン独奏が悲しげな主題を奏で、さらに様々な楽器が旋律を紡ぎ出して、夢と不安の間をさまようかのようなロマンティックな広がりを作り出していく。やがてテンポが速まってスケルツォ風の軽快な中間部（アレグロ・ヴィヴァーチェ）となり、これは途中で勇壮な行進曲風になるなど、大きく盛り上がる。その後アダージョが回帰するが、最初の時よりも痛切な郷愁味を帯びている。**第3楽章（アレグロ）**は活気に満ちたフィナーレで、ソナタ形式を下敷きにしつつも、その扱いは自由で楽想も多様なため、ロンド風の性格が感じられる。第1主題はきわめて賑やかなもので、これが楽章全体の性格を決定しており、展開部ではこの主題によるフガートも挟まれる。ラフマニノフが以前から好んで用いていたグレゴリオ聖歌「怒りの日」冒頭と同じ4音動機も効果的に埋め込まれている。ロシアの祭りを思わせるような祝典的な発展の中に郷愁や懐旧の思いを込めた楽想を織り込んだ、変化溢れる終曲である。

楽器編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、シロフォン、タンブリン、ハープ、チェレスタ、弦楽5部。

Playback プレイバック

1月の公演を振り返ります

PHOTO 1 1月のさいたま定期演奏会*＆横浜定期演奏会は井上道義さんとご一緒しました。さいたま定期は典雅なモーツァルトのフルートとハープのための協奏曲（フルート：工藤重典さん、ハープ：山宮るり子さん）などを、翌日の横浜定期はマエストロのワルツセレクション他をお楽しみいただきました。（写真はさいたま定期演奏会の模様）

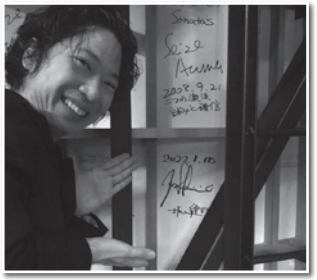


PHOTO 2 1月10日は三春滝ザクラ天然記念物指定100周年記念事業「まほら」ニューイヤーコンサート。福島県田村郡三春町は、おいしい地酒と豊かな歴史の町です。日本フィルー同がチャーターバスから降り立つと、運営協会の方々が拍手で出迎えてくださいました。指揮の坂入健司郎さんは反響板に笑顔でサインされました。

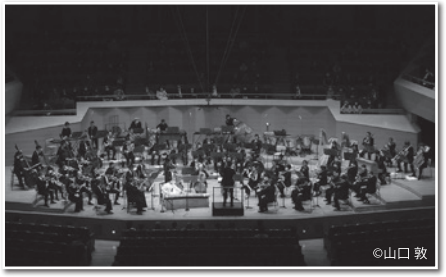


PHOTO 3 1月東京定期演奏会は、守屋多々志「ウィーンに六段の調（ブラームスと戸田伯爵極子夫人）」という絵画にアイディアを得た、ブラームスの交響曲第3番と箏を組み合わせたプログラムでした。指揮に阪哲朗さん、箏に遠藤千晶さんを迎えた、日本の新春に相応しい公演となりました。*

PHOTO 4 下野竜也さんと高木綾子さん（フルート）をお迎えしてお届けした1月23日名曲コンサートは、これぞニューイヤーコンサート！というプログラム。マエストロの楽しいお話もありつつ、最後のアンコールはもちろんラデツキー行進曲！*

PHOTO 5 1月29日芸劇シリーズは、指揮の沼尻竜典さん、ヴァイオリンの渡辺玲子さんと共に「ドイツ本流の旅」と題しブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番、ブラームスの交響曲第1番他をお楽しみいただきました。

*印は有料アーカイブ配信中！
アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

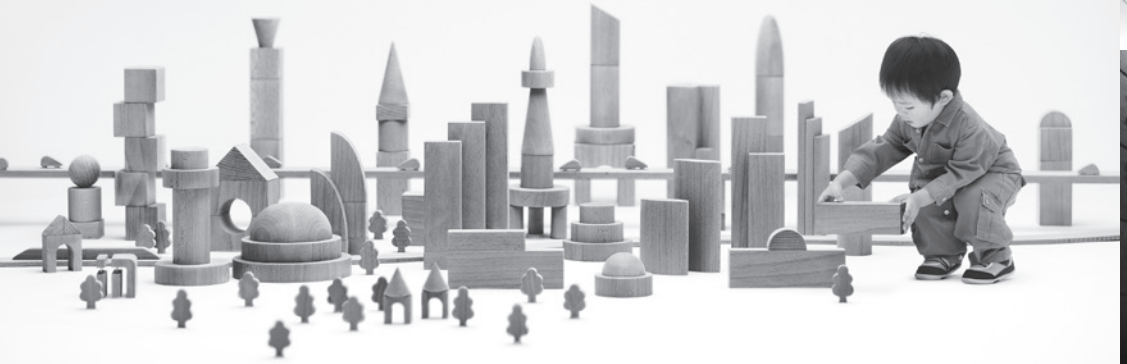
Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

NEW! 10月23日東京定期&11月20日杉並公会堂シリーズ 視聴券ご購入で、もう一人見れるURLプレゼントキャンペーン実施中！

9月11日	東京定期演奏会	指揮：山田 和樹［正指揮者］	まもなく配信終了！
9月21日	特別演奏会	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］	まもなく配信終了！
10月23日	東京定期演奏会	指揮：アレクサンドル・ラザレフ［桂冠指揮者兼芸術顧問］	アーカイブ配信中
10月31日	名曲コンサート	指揮：大井 剛史	クライスラー以外アーカイブ配信中
11月6日	東京定期演奏会	指揮：角田 鋼亮	アーカイブ配信中
11月14日	コバケン・ワールド	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］	アーカイブ配信中
11月20日	杉並公会堂シリーズ	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］	アーカイブ配信中
12月11日	東京定期演奏会	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］	アーカイブ配信中
12月19日	第九特別演奏会	指揮：角田 鋼亮	アーカイブ配信
12月23日	第九特別演奏会	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］	アーカイブ配信
1月16日	東京定期演奏会	指揮：阪 哲朗	アーカイブ配信
1月23日	名曲コンサート	指揮：下野 竜也	アーカイブ配信
3月4日	東京定期演奏会	指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］	ライブ＆アーカイブ配信

想像を、チカラに。

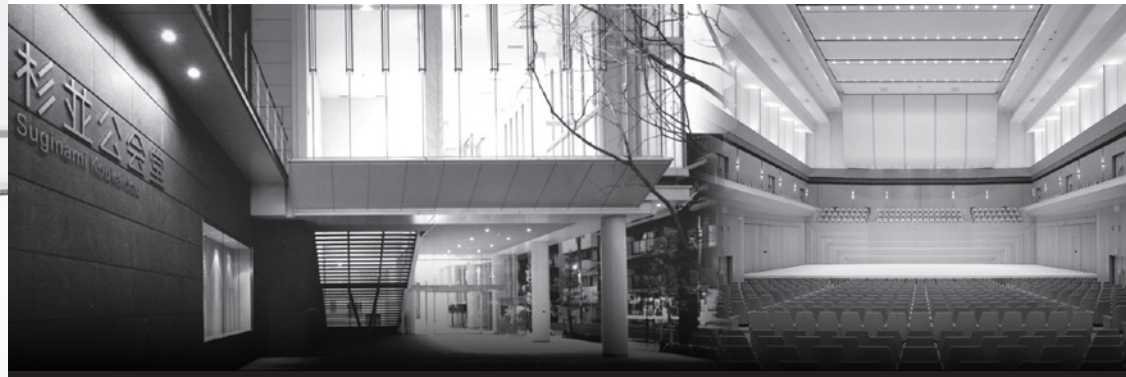


人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

コロナ禍の日本フィルを支えてくださった皆様に、心より御礼申し上げます

新型コロナウイルス感染症の嵐が止まないまま、はや2年の月日が経とうとしています。

この間、皆さまから絶えず励ましのお言葉と厚いお力添えを頂戴いたしましたことに、心より御礼申し上げます。不安定な状況が続く中でも多くの皆様に演奏会へお越し頂いておりますことが、日々の活動の励みとなっております。

日本フィルは2020年2月末、突然の公演自粛要請からおよそ4か月間一切の活動を停止し、活動再開以降も感染拡大防止対策などの影響が続いた結果、2020年度だけで70公演が中止となり、一時は約6億円の収入が失われ、年間収支は4億円近い赤字見込みとなりました。給与カット等の自助努力だけでは回復には遠く及ばず、「存続の危機」といえる状態に追い込まれ、皆様に事業継続のためのご支援のお願いを続けてまいりました。

この間、可能な限り演奏会を実施しながら、国の補助金・助成金獲得に努め、杉並区等の自治体からの支援、稲盛財団をはじめとする民間財団の助成、金融機関のご支援もいただきました。何より大きな力となりましたのが、全国の皆様から頂戴したご寄付です。その額は一億円を超えるものとなり、「何としても存続してほしい」という強いメッセージとともに日本フィルを力強く支えてくださいました。涙が出るほどにありがたく、改めて衷心より御礼申し上げます。

こうしたご支援のお陰を持ちまして、2020年度決算は奇跡的に赤字を回避することができました。これで一見存続の危機を脱したようにも見えますが、しかし変異株の拡大などコロナ禍の収束については不透明な状況であり、完全な形での活動には未だ戻れない中、演奏収入を主たる財源とする日本フィルにとっては2021年度も厳しい状況が続いております。

日本フィルは皆様からのお力を糧に、芸術性と社会性を兼ね備えた音楽団体として、新しい時代の社会の要請にしっかりと応えられるよう、自らの変革を行っていく所存でございます。どうか引き続き皆様には温かくお見守りいただくとともに、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

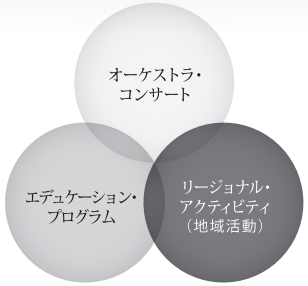
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

特別会員　株式会社牧野フライス製作所 代表取締役社長　井上 真一

パトロネージュ　角田 峻一　東京都 ／ 中園 和博　東京都 ／ 松田 孝裕　埼玉県 ／ 山口 仁栄　東京都

存続の危機にある日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載や様々な特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
アサヒグループホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO 小路 明善
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋 一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 長尾 收
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 髙橋 俊充
宇部興産株式会社 取締役会長 山本 謙
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎
株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
花王株式会社 代表取締役 社長執行役員 長谷部佳宏
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉弘 英光
かどや製油株式会社 代表取締役会長 小澤 二郎
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 長南 収
協和キリン株式会社 代表取締役社長 宮本 昌志
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 代表取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行
京王電鉄株式会社 代表取締役社長 紅村 康
京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 原田 一之
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役社長 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
松竹株式会社 代表取締役社長 迫本 淳一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉 一夫
昭和電工株式会社 代表取締役会長 森川 宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長COO 山﨑 徹

株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
株式会社杉江商店 代表取締役 杉江 寛
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之
株式会社西武ホールディングス
代表取締役社長 後藤 高志
全国保証株式会社 代表取締役社長 石川 英治
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大成建設株式会社 代表取締役社 相川 善郎
大成ロテック株式会社 代表取締役社長 西田 義則
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大日本塗料株式会社 代表取締役社長 里 隆幸
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社 代表取締役社長 山東 理二
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表取締役社長 松添みつこ
株式会社ティーガイア 代表取締役社長 金治 伸隆
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ＴＩＳ株式会社 代表取締役社長 岡本 安史
株式会社電通 取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 秋山 優樹
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 雑賀 克英

東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬　伸一
東急株式会社 代表取締役社長 髙橋　和夫
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野　敦郎
東京都杉並区 区長 田中　良
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木　秀記
株式会社東北新社 代表取締役社長 中島　信也
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口　昌伸
戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井　雅則
トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 豊田　章男
株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長 永谷栄一郎
株式会社ナミキ 代表取締役会長兼社長 並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 今泉　泰彦
株式会社ニフコ 代表取締役社長 兼 COO 柴尾　雅春
日本精工株式会社 取締役会長 内山　俊弘
日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本　英二
日本電子株式会社 代表取締役会長 兼 CEO 栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長 長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長 萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO 奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員 矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長 浦上　博史

株式会社博報堂 代表取締役社長 水島　正幸
ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡　俊夫
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長 堀　一浩
阪和興業株式会社 代表取締役社長 古川　弘成
東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野　直樹
非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長 清水　雄也
富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山　好映
富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎
富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団 理事長 藤本由紀子
双葉電子工業株式会社 代表取締役社長 有馬　資明
古河産業株式会社 代表取締役社長 横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長 池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長 吉村　隆
本田技研工業株式会社 代表取締役社長 三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
代表取締役社長 井上　真一
マネックスグループ株式会社
代表執行役 松本　大
株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井　浩
株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村　正博
丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
三井情報株式会社 代表取締役社長執行役員 浅野　謙吾
株式会社三井住友銀行 頭取CEO 髙島　誠
三井製糖株式会社 代表取締役社長 森本　卓
三井石油開発株式会社
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長 古賀　博文

三井物産株式会社 代表取締役社長 堀　健一
三井不動産株式会社 代表取締役社長 菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長 飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問 石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 柳井　隆博
三菱オートリース株式会社
三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井　政志
三菱地所株式会社 執行役社長 吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役CEO 加藤　隆雄
三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤　清次
三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 荒木　三郎
武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長 永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役 塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役社長 大徳　眞一
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長 水野　憲一
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧　寛之
森社会保険労務士事務所 所長 森　康之
株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀　澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
取締役 神田　晴夫

株式会社UACJ 代表取締役社長 石原　美幸
ユウキフーヅシステム株式会社
取締役相談役 田中　晃
横河電機株式会社
米持建設株式会社 代表取締役 米持　大介
株式会社リガク 取締役会長 志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員 稲葉　和彦
株式会社Rings 代表取締役 矢部　和広
株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木　信也
株式会社LABCO 代表取締役 高津　昌広
株式会社LEOC 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 松本　功

匿名5名

（2022年3月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石井　榮　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
石橋　雄三　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
稲葉　治樹　茨城県
稲葉　好正　東京都
犬塚　静衞　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大熊美結紀　東京都
大倉　祐子　東京都
大島　剛　埼玉県

大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
奥山　敦子　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片柳　彰　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
川合　孝一　千葉県
川瀬　範子　東京都
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菊池　和美　東京都
喜多乢久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木藤　正義　埼玉県
木村　惠司　神奈川県
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県

黒田　真一　東京都
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都
児玉　敏宏　東京都
児玉　玲子　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　重人　東京都
酒井　和夫　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤田　初恵　東京都
柴田　栄一　東京都
島田　精一　東京都
島田　敏生　神奈川県
島田　晴雄　東京都
清水　久子　東京都
清水　幸雄　千葉県
下河辺美知子　東京都
下條　英敏　神奈川県
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　庸夫　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
高井　延幸　神奈川県
高木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都

高田　信子　東京都
高橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹下　道夫　東京都
竹中富知男　東京都
龍川　優　東京都
立山　裕子　熊本県
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
谷　聖美　神奈川県
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
鳶井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団　東京都
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都

西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー協会所沢支部　埼玉県
二村　英之　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
箱崎　一彦　千葉県
橋倉　宏行　埼玉県
蓮見　正純　東京都
羽田　洋子　神奈川県
濱田　尚人　東京都
林　一郎　東京都
原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
針谷　博史　東京都
平井　邦子　神奈川県
平井　嘉朗　東京都
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
平松　恒治　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
本田　博　熊本県
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　孝裕　埼玉県
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県

宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
八代　元行　東京都
柳田　淑　神奈川県
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉川　隆一　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
渡辺　康匡　東京都
F.H.
M.K.

匿名72名

（2022年1月31日現在
50音順・敬称略）

インキネンのベートーヴェン・ツィクルス再開！

聴き手：高坂はる香

2021年11月20日 杉並公会堂にて

―パンデミックの影響で中断されていたベートーヴェン・ツィクルスが、この4月に再開しますね。

はい、新型コロナウイルス感染症によって阻まれていましたが、またプロジェクトの完結に向かって進んで行きます。渡邉（曉雄：創立指揮者）さんの頃からの伝統にそってシベリウスの初期の作品も取り上げ、純フィンランド人として、初めてこのツィクルスを完走させたいと思います。

日本フィルとのおつきあいも、もう13年になります。2年間会うことができず悲しかったですが、久しぶりの共演でも長く離れていた感じは全くなく、すぐに私たちのスタイルを取り戻すことができました。

―コロナ禍で自宅にいる時間が増え、クラシックを聴くようになった方もいるかと思います。今回の二つのベートーヴェン・プログラムについて、クラシック好きの方、初心者の方、それぞれどのようなことに期待してほしいですか？

プログラムの一つは、第6番《田園》と第5番《運命》、もう一つはシベリウスの《エン・サガ》を冒頭に置き、第2番、第4番というものです。9つの交響曲には、ベートーヴェンの発展の要素がつまっていますから、1週間で作品の進歩を感じる、濃密な旅になると思います。

作品を初めて聴く方にとって特別な機会になるのはもちろん、聴き慣れている方にとっても、どんな演奏が繰り広げられるのか、楽しみにしていただけると思います。

というのも、すばらしい作品には解釈に広がりがあるからです。伝統的な方法をとることもできるし、クレイジーで新しいアイデアを模索することもできる。大きな編成によるロマン派的な解釈もある。私のスタイルではないけれど、ピリオド奏法にこだわってヴィブラートを排除するという解釈もある。それぞれに可能性があります。

―なかでも第5番《運命》は、たくさんの歴史的な名演もあるマスターピースですが、インキネンさんの演奏はどのようなものになるのでしょうか。新しい解釈やオリジナリティなど、どんなことを目指しますか？

同じように指揮をしても、オーケストラごとに違う音楽が聴こえてきますから、その意味では私の音楽はいつもオリジナルで新しいものです。ただ平たくいうなら、その瞬間、聴衆が自然であると思ってくれる音楽を目指していますね。それ以外の解釈はないと感じながら聴いてもらえることがゴールというか。もちろん、他の解釈の可能性があることは確かなのですけれど。

そして、新しいこと、変わったことをすることが目的になってはいけません。そうしていると、作品が本来語っていることと別の音楽になってしまう恐れがあります。私は個人的にはそういう演奏は好きではありません。作品をリスペクトし、確信の持てる演奏をすることで、説得力が生まれると思います。

はじめあんなにも絶望に打ちひしがれていたところから、最後、勝利を高らかに歌いあげるという展開に、衝撃的なドラマを見ることになるでしょう。

―ベートーヴェンの交響曲には、9曲を通じて進歩してゆくさまが見られるというお話がありました。彼のそんな自らの前作を否定して次の交響曲に挑んでゆくところには、共感を覚えますか？

©Mechthild Schneider

ええ、いつも驚かされていますね。たとえば第3番《英雄》の革命的なところ。第5番の勝利のフィナーレに到達してゆく圧倒的な瞬間。まったく異なる風景があらわれる第6番《田園》。続く第7番は再び大きな作品ですから、それじゃあ次は何がくるのだろうと誰もが思うところに「たまにはおだやかな瞬間も必要だろう、ハッハッハ！」とばかりに、第8番がくる。まるでジョークです。そして偉大なる第9番の交響曲が最後を飾ります。彼にはユーモアもありますね。

―人生を通じて壮大なユーモアを生み出しているような。

そうそう、その通りだと思います！

その場で起きていることの中に、突然とてもウィットに富んだ仕掛けが出現するので、大きなコントラストが生まれるのです。驚きの瞬間が常にあるので、眠りに落ちる暇などありません。

―では最後にお聞きします。この社会の状況の中で、私たちはベートーヴェンの音楽から何を受け取ることができるでしょうか？

交響曲第5番について、アーノンクールがこのようなことを話していました。「冒頭は変化のさなかに置かれた囚われの身のように感じるが、そこから囲いを打ち破っていく」。

私たちはコロナ禍において、ある意味、囚われの身のような状況に置かれ、自由になりたいと願っています。そんな物語を音楽で感じていただけたらうれしいです。そして、これがやがて現実社会でも起きることを、私は願っています。

このインタビューのロングバージョンはこちら！
https://japanphil.or.jp/orchestra/news/24967

第237回芸劇シリーズ

2022年4月17日（日）14：00開演
東京芸術劇場

指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］

ベートーヴェン：交響曲第6番《田園》
ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》

好評発売中

S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000 C¥4,000
Ys¥1,500 Gs¥4,000

第376回横浜定期演奏会

2022年4月23日（土）17：00開演
ミューザ川崎コンサートホール

ピエタリ・インキネン［首席指揮者］

シベリウス：交響詩《エン・サガ》
ベートーヴェン：交響曲第2番
ベートーヴェン：交響曲第4番

好評発売中

S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000
P¥4,000 Ys¥1,500

NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会

第739回

サントリーホール

2022年4月1日(金)19:00開演
2日(土)14:00開演 (「本日の聴きどころ(プレトーク)」13:30〜)

巨匠小林研一郎によるドイツ音楽の本流。シューマンとブラームスの師弟による2つの「4番」

©山本 倫子

指 揮:**小林 研一郎**
[桂冠名誉指揮者]

シューマン:交響曲第4番 ニ短調 op.120
ブラームス:交響曲第4番 ホ短調 op.98

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

聞き手　伊熊 よし子

[ふたつの交響曲に潜む"ゆううつ"な空気を表現したい—それを聴きとってほしいのです]

「コバケン」の愛称で親しまれている指揮者小林研一郎の情熱的で真摯でひたむきな演奏姿勢は、「炎のマエストロ」と称される。しかし、実際の演奏は楽譜の裏側に迫る知的で冷徹で洞察力に富む眼が備わったもの。どんなに激しく強靭な音をオーケストラから導き出そうと、自身はペシミスティック(厭世的、悲観的)な性格を前面に現し、作品の内奥に肉薄し、作曲家が音符に込めた苦悩や悲劇や慟哭を代弁していく。そこにはこれまで聴いたことのない世界が広がり、聴き手の心を震わせる。4月の東京定期演奏会のシューマンの交響曲第4番とブラームスの交響曲第4番という組み合わせは、コバケンのこだわりのプログラム。先ず、その選曲から話を伺うと…。

「最初にシューマンの交響曲第4番を演奏したいと考え、それに組み合わせる形でブラームスの交響曲第4番を選びました。ふたりの作曲家のドラマを表現し、その時代を描き出したいと思ったからです。シューマンの作品には"暗いよどみ"が潜み、独特の世界が広がっている。彼はベートーヴェンの前の時代に戻ろうとしていたのではないでしょうか。一方、ブラームスはベートーヴェンから離れて、どこかに向かおうとしていたように思えます。そしてこの2曲は、それぞれの作曲家が"死"を意識しているように思われてなりません。自身の持ち味を存分に生かし、まさに"死への"のような趣を呈しています」

コバケンさんの演奏はいずれの作品も深遠でほの暗く、情感が横溢し、心の奥にグサリと突き刺さってくるようなはげしさを内包している。ただし、彼はどんな作品もいま生まれたばかりの作品に対峙するような新鮮な思いを抱き、オーケストラから清新な響きを引き出すことも事実である。その新風を全身にまとうと聴き手も活力と前に進む勇気が与えられ、至福の時を過ごすことができる。

「オーケストラは非常に才能豊かな人たちの集まりで、私は常に彼らから持てる最高のものを引き出すにはいかにしたらいいかと、そればかり考えています。それには、私自身が作品の奥深いところまで、こまかな部分にまで理解を深め、作曲家の意図したところに近づかなくてはなりません。オーケストラにこれまで聴いたことのないような音を出してほしいと願うのは、聴き手に新たな体験をしてほしいからです。今回もそれを目指します」

コバケンさんはシューマンの交響曲では第4番をこよなく愛し、ブラームスの第4番も昔から何度も演奏してきたという。

「シューマンの第4番は、心のひだにひらめいてくる作品なのです。常に、もっと感覚を掘り下げてみたいと考えます。第1楽章のテーマが全編を貫き、ニ短調の暗さが人々の心を覆い尽くす。第2楽章のカンタービレ、第3楽章の異質な雰囲気を経て、第4楽章は遠い国からの誘いのよう。この第4楽章の始まりが、まさにゆううつな中から巨大な光が現れる感覚なのです。人々の胸にもう一度独特な気持ちを喚起する、ここを聴いてほしいですね。また、ブラームスの方は、f(フォルテ)ひとつという表記の箇所も、私はfを4つくらいで演奏したい。

私は毎朝、譜読みをしますが、作曲家でもありますので、スコアを深く読むのは得意なのです。その折に、いままで気づかなかった新たな発見があり、心が高揚します。コロナ禍で演奏する機会は減っていますが、その分スコアを読む時間が増えました。今回は、その成果を存分に披露したいと思っています。聴衆の皆様を異次元の世界へと誘(いざな)いたいです!!」

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

1回券料金	S ¥8,000	A ¥6,500	B ¥6,000	C 完売	P ¥4,000	Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

● テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54～23:00（第3週、第4週は再放送）。登場するのは首席指揮者ピエタリ・インキネン＆正指揮者山田和樹。ぜひご覧ください!

● 新入団員のお知らせ

2022年2月1日付でファゴットセクションに中川日出鷹が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

● 好評発売中

第236回芸劇シリーズ

2022年3月20日（日）14:00開演
東京芸術劇場

指揮：大植 英次　ヴァイオリン：小林 美樹

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
マーラー：交響曲第1番《巨人》

第237回芸劇シリーズ

2022年4月17日（日）14:00開演
東京芸術劇場

指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］

ベートーヴェン：交響曲第6番《田園》
ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》

第395回名曲コンサート

2022年5月22日（日）14:00開演
サントリーホール

指揮：西本 智実　ヴァイオリン：三浦 文彰

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
チャイコフスキー：交響曲第5番

● 定年のお知らせ

ホルンの宇田紀夫が2022年1月18日で定年を迎えました。1982年9月に入団し、ホルン・セクションで活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託のホルン奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

● もうすぐ発売

2022年3月16日（水）発売

コバケン・ワールド in KYOTO vol.2

2022年6月4日（土）14:00開演
ロームシアター京都

コバケン・ワールド Vol.31

2022年6月5日（日）14:00開演
東京芸術劇場

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
ヴァイオリン：千住 真理子

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ベートーヴェン：交響曲第7番 他

2022年3月31日（木）発売

第396回名曲コンサート

2022年6月12日（日）14:00開演
サントリーホール

指揮：アレクサンドル・ラザレフ
［桂冠指揮者兼芸術顧問］
ピアノ：横山 幸雄

ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲
ショスタコーヴィチ：交響曲第5番

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は両日ともマエストロご本人の登場です!
金曜日18:30～土曜日13:30～

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

1月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）匿名5名

ご寄付の方法　ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日11 時～17 時）　FAX：03-5378-6161（24時間）　E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 曉雄	首席指揮者	ピエタリ・インキネン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン	正指揮者	山田 和樹
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ	首席客演指揮者	カーチュン・ウォン

ソロ・コンサートマスター：木野　雅之
ソロ・コンサートマスター：扇谷　泰朋
コンサートマスター：田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター：千葉　清加
第1ヴァイオリン：太田　麻衣　九鬼　明子　齋藤　政和　榊　渚　佐藤駿一郎　田村　昭博　中谷　郁子　西村　優子　平井　幸子　本田　純一　町田　匡
第2ヴァイオリン：遠藤　直子　大貫　聖子　岡田　紗弓　加藤　祐一　神尾あずさ○　川口　貴　末廣　紗弓　竹歳　夏鈴　豊田　早織　山田　千秋
ヴィオラ：安達　真理☆　小俣　由佳　小中澤基道　児仁井かおり　高橋　智史　中川裕美子　中溝とも子　松澤　稚奈　デイヴィッド・メイソン◎
ソロ・チェロ：菊地　知也
チェロ：石崎　美雨　伊堂寺　聡　江原　望　大澤　哲弥　久保　公人　山田　智樹　横山　桂
コントラバス：菅原　光　鈴村　優介　髙山　智仁◎　成澤　美紀　宮坂　典幸　山口　雅之
フルート：齋藤　光晴□　難波　薫　真鍋　恵子◎
オーボエ：佐竹　真登　杉原由希子◎　松岡　裕雅○
クラリネット：伊藤　寛隆◎　楠木　慶○　照沼　夢輝　堂面　宏起
ファゴット：大内　秀介　鈴木　一志◎　田吉佑久子○　中川日出鷹□
ホルン：宇田　紀夫　信末　碩才◎　原川翔太郎　丸山　勉☆　村中　美菜
ソロ・トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット：中里　州宏　中務　朋子　星野　究
トロンボーン：伊藤　雄太　伊波　睦　岸良　開城○
バス・トロンボーン：中根　幹太
テューバ：柳生　和大
ティンパニ：エリック・パケラ◎
パーカッション：大河原　渉　福島　喜裕
ハープ：松井　久子

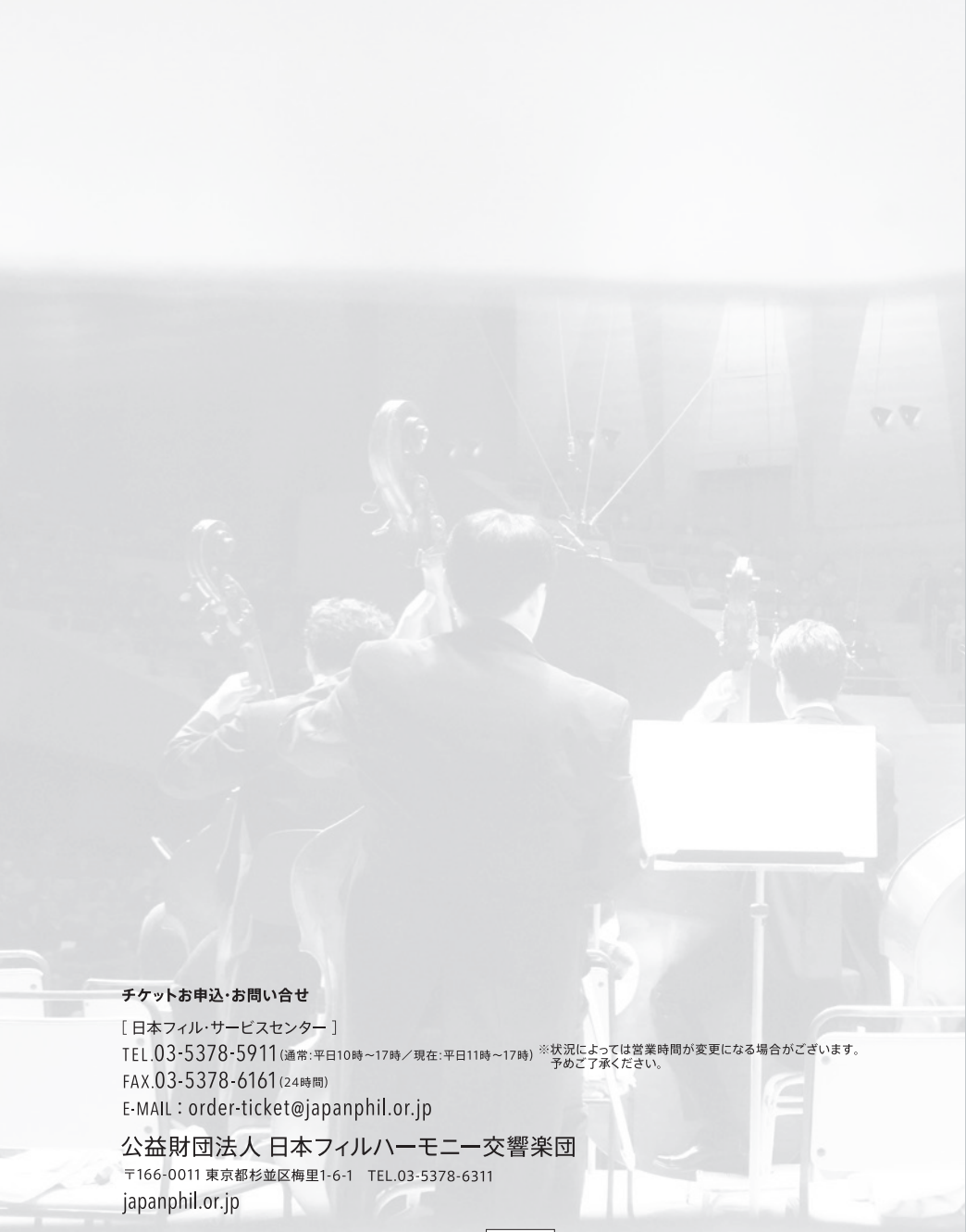
楽団長：中根　幹太
チーフステージマネージャー：阿部　紋子
チーフインスペクター：佐藤駿一郎
インスペクター：宇田　紀夫　鈴村　優介
ライブラリアン：鬼頭さやか　杉本　哲也

◎首席奏者　○副首席奏者　☆客演首席奏者　□試用期間

理事長（代表理事）：平井　俊邦
副理事長（代表理事）：五味　康昌
常務理事（代表理事）：後藤　朋俊
常務理事（代表理事）：中根　幹太
常務理事（代表理事）：福井　英次
理事：石井啓一郎／遠藤　滋　佐々木経世／田村　浩章　戸所　邦弘／福本ともみ
評議員会会長：加藤　丈夫
評議員：青井　浩／荒蒔康一郎　石塚　邦雄／石村　等　稲垣　尚／内川　清雄　大塚　宣夫／海堀　周造　梶浦　卓一／河北　博文　喜多　崇介／木村　惠司　久保田　隆／小林研一郎　島田　精一／髙橋　和夫　津田　義久／野間　省伸　葉田　順治／村上典吏子　山口多賀幸
監事：上條　貞夫／四戸　孝紀
名誉顧問：熊谷　直彦
名誉顧問：島田　晴雄
名誉顧問：田邊　稔
アドバイザリー・ボード：大島　剛／小野　敏夫　小網　忠明／後藤　茂　武田　隆男／田邊　稔　堀越　作治／溝口　文雄
コミュニケーション・ディレクター：マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ：磯部　一史／江原　陽子　及川ひろか／小川紗智子　賀澤　美和／柏熊由紀子　小須田　萌／佐々木文雄　佐藤　孝雄／澤田　智夫　篠崎めぐみ／清水佑香子　杉山　綾子／高橋　勇人　田中　正彦／槌谷　祐子　中村沙緒里／西田　大輔　長谷川珠子／馬場　桃子　藤田　千明／別府　一樹　益滿　行裕／山岸　淳子　吉岡　浩子

団友：
青柳　哲夫／青山　均／赤堀　泰江　浅井　俊雄／淺見　浩司／新井　豊治　石井啓一郎／伊藤　恒男／江藤　瓔子　遠藤　功／遠藤　剛史／大石　修　大川内　弘／大味　修／筧　美知子　金本　順子／蒲谷　隆行／川口　和宏　菊田　秋一／吉川　利幸／木村　正伸　小林　俊夫／小山　清／斎藤　千種　佐々木裕司／佐藤　玲子／髙木　裕子　髙木　雄司／高木　洋／高倉　理実　田沢　烈／立川　和男／堂阪　俊子　富樫　尚代／豊田　尚生／中川　二朗　永田　健一／中務　幸彦／奈切　敏郎　橋本　洋／畑井紀代子／平賀　法子　松本　克巳／松本　伸二／三谷　昭平　三本　克郎／宮武　良平／三好　明子　森　茂／山下　進三　山科　淑子　山本　辰夫　渡辺　哲雄

（2022年3月1日現在）



チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]
TEL.03-5378-5911(通常：平日10時～17時／現在：平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
FAX.03-5378-6161(24時間)
E-MAIL：order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5
「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!